



陣内俊 Prayer Letter

Designed by CORKSCREW DESIGN WORKS /2008/All Rights Reserved

2018年10月 - 12月号
Vol.44

支援者の皆様へ

支援者の皆様、いつもお祈り、ご支援を心より感謝いたします。祈っていただいた妻の断乳もスムーズに行き、乳腺炎に悩まされることもなくなりました。1歳3ヶ月になる長女のかなえも日に日に成長し、名前のおり周囲の人々を笑顔にするような愛嬌をふりまいてくれます。

この1年を振り返りますと、数え切れないほどの神の恵みを覚えます。練馬グレースチャペルで「包括的宣教体験キャンペーン」の取り組み、3月の関西方面の訪問、8月、11月の北海道（よにでしセミナーの準備と開催のため）、9月のチェンマイ（タイ王国）でのDNAフォーラム、関東学院高校、帝京科学大学など教育期間の研修や講義で教える機会など、多様な奉仕をする特権に与り、たくさんの素晴らしい出会いと再会がありました。

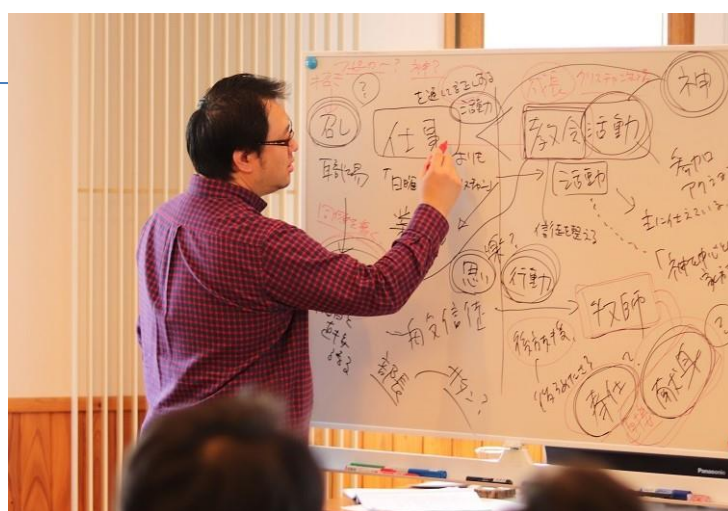
現代は「先が見えない時代」と言われます。経済思想家のナシーム・ニコラス・タレブは「反脆弱性」という本の中で、「不確実性の高い世界において生き残る戦略」について、「安定的に出来ることを続ける」とことと「いろいろやってみる（いじくりまわし）」という二峰性の戦略を採ることが重要だと強調しています。私もまた普遍的に大切なことを続けるとともに、来年もたくさんの「試作品」を生み出していきたいと思っています。失敗することもまた楽しむ心の余裕と、不確実なことを（神への信頼ゆえに）喜ぶという信仰を土台として。



よにでしセミナー2018 in 札幌

昨年 11 月、伊勢志摩にて「世にあって弟子として生きる社会人のための週末合宿（通称よにでしセミナー）」が開催されましたが、今年 11 月 23～24 日に、第二期 in 札幌の開催に至りました。セミナーの元となるアイデアを提供して下さった友人の土畠氏とは昨年から打ち合わせを重ねてきましたが、8 月に札幌を訪問してからは、現地の実行委員会と共に集中的に綿密な準備を行って来ました。今年の「よにでしセミナー」は昨年よりもさらにバージョンアップし、16 名の社会人が全国各地から集まってくださいました。背景も性別も年齢も様々で、建築士、教育者、歯科医師、牧師、自動車修理販売業、会社経営者、システムエンジニア、公務員など、参加者の専門分野も多岐に渡りました。

「先の見えない困難な時代」に、自らの職域において信仰者としてどのように神の栄光を現すことが出来るのか？「信仰と仕事」はトレードオフなのか？右肩下がりの時代に教会は次の世代の在り方をどのように見出すことが出来るのか？など、私たちが人生で直面する様々な「矛盾と葛藤」を、どのように「弟子としての歩みの発展の契機」としていくことが出来るか、という思考法を培う事が出来る、全国でも希有なセミナー内容となってきました。来年は関西方面で第三期を開催予定です。「弟子として生きる社会人の連帯」「学習する共同体」のうねりを主が今後も発展させ、修了生一人ひとりを日本社会の「塩」として豊かに用いてくださるようお祈りください。



帝京科学大学での 2 回目の授業、帯広畜産大学の聖書研究会

今年 6 月に帝京科学大学の非常勤講師としてさせていただいた授業が好評につき、後期も同学の「アニマルサイエンス学科」の 1、2 年生に、「動物国際事情」の 1 コマを担当し、今回は受講者からのレポートの採点もさせていただきました。将来動物と関わる仕事を志望している学生たちに、今考えておくべきことを自らの経験から伝えるという機会が与えられたことに感謝しました。

また、「よにでしセミナー」奉仕のあと家族の秋休みのために十勝を訪れましたが、滞在中の 11 月 28 日に私の出身大学である帯広畜産大学で現在「聖書研究会」というサークル活動をしている獣医学科 6 年生の N くんとお会いしました。N くんを含む 5 名の聖書研究会のメンバーたちは、私の 16 年（以上）後輩にあたります。私の学



生時代は「聖書研究会と伝道に献げた青春」でしたから、16年の年月を経た後輩たちに、自分の経験から励ましを語ることが出来たことに深い感慨を覚えました。Nくんは卒業後、産業動物獣医師として北海道の酪農地帯に就職予定ですが、私の発行する無料メルマガを購読してくれており、「3年後、必ず『よにでしセミナー』に参加します！」と言ってくれました。私のこれまでの人生は多くの人が選ぶ「王道」ではなく、仮に同窓会に出席したとしてもあまり誰とも会話がかみ合わないのではないかと心配になります。しかし、多くの人が歩むわけではない小径を歩んで来たからこそ、後進に還元することのできる、ユニークな「経験と知識の資産」が積み上げられてきたことも感じています。臨床心理学の泰斗カール・ロジャーズは「最も個人的なことは最も普遍的なことである」と言っています。私のきわめて個人的な信仰の歩みを若い人々に分かち合うとき、それが普遍的に大切なことを示唆し、彼らの心の腐葉土となれば幸甚です。



メッセージ要約

「人はどうすれば変われるのか？」 主題聖書箇所：ローマ人への手紙 12章 1節

2018年10月28日、練馬グレースチャペルにて、「包括的宣教体験キャンペーン」開始に際した礼拝メッセージ

ハーバードビジネススクールのキーガン氏とレイヒー氏は共著書『なぜ人と組織は変わらないのか？』のなかで、ビジネスの現場でこの20年以上「変化」が声高に語られているのに、なぜその変化を起こせる企業や組織や個人は一握りの少数派なのかという疑問を抱きました。両氏は組織にも個人にも「**変革を阻む免疫機構**」がある、ということを見出します。これは人間の脳に備わる「保守性」によります。キリスト者は、ローマ書12章1節に示されているように「日々変えられていくこと」を求められていますから、「変化を拒む免疫機構」をどう乗り越えていけるか、という両氏の提案は有意義だと思われます。変化が起こらないのはビジネス界の前提が間違っているためだと両氏は指摘します。つまり、「正しいことを知れば、人は変わる」という前提です。これは「正しい教義を信じればキリスト者は変わる」と信じがちなキリスト教会にも同じ事が言えます。

両氏が提案している、「変革を望む人や組織が心に刻むべき7つの要素」をご紹介します。大人になっても成長できるという前提に立つ／適切な学習方法を採用する（実践的でオンジョブ的な学習）／誰もがうちに秘めている成長への欲求をはぐくむ／本当の変革には時間がかかることを覚悟する／感情が重要な役割を担っていることを認識する／考え方と行動のどちらも変えるべきだと理解する／メンバーにとって安全な場所を用意する（「試練と支援」をセットで与える）

実は、これらはすべて聖書の言葉によって支援される普遍的な原則に合致しています。例えば最後の「試練と支援」は自分を裏切ることになるペテロにイエスがしたことそのものですし、「聞く者ではなく、聞いて行う者が幸い」と実践を強調したイエスの姿勢は「オンジョブ的」です。

一方で、ビジネスの現場と教会の大きな違いは、キリスト者を変えるのは聖霊の業（Ⅱコリント3:18）だということです。つまり教会の場合、8番目の要素として、「**変革は神と人との共同作業**」ということを加えることが出来るかと思います。自分の努力で私たちは変わることが出来ませんし、かといって「変えてくださる神」に丸投げし、自分はソファに座ってテレビを観ていれば自動的にキリストのように変えられる、と期待するのは現実的でも聖書的でもありません。神と自分と他者（共同体）の三つ組みの中で、私たちがキリストに似せられるプロセスが深められるよう祈ります。

*プレイヤーで要約したメッセージはすべて、FVIのYouTubeチャンネル「Voice for the Voiceless」でご視聴いただけます。

祈りの課題

- ◇家族の健康が支えられ、神のために喜びをもって奉仕することが出来るように。
- ◇FVI と「支える会」の会計が満たされ、活動が続けられるように。
- ◇2019 年も、神が導かれる「向こうから来ること」を大切にしつつ、様々なことを試していくことができるように。無理をして許容量を超えたことをするのではなく、「なしてくださる神」に信頼出来るように。

2018 年 12 月以降の予定

月 日	内 容	場所、補足
12 月 30 日	礼拝メッセージ奉仕	練馬グレースチャペル
2019 年 1 月 14 日	長老会にて奉仕	高座教会（神奈川県）
2 月 18～19 日	FVI 役員会	万座温泉ホテル（群馬県）
4 月	海外パートナーの訪問（調整中）	インド
6 月 25～29 日	Global Workplace Forum（ローザンヌ運動主催）	マニラ（フィリピン）
秋頃	よにでしセミナー第三期	未定（関西が候補地）
随時継続的に	FVI の各種活動	国内各地

* 上記は現在までで分かっている暫定的な範囲の予定です。

連 絡 先

〒202-0014 東京都西東京市富士町 4-4-15-402 「陣内俊を支える会」

陣内への Email shun@karashi.net 無料メルマガ、ブログなど→「陣内俊」で検索

支援のための献金方法

私の活動は、支援者の皆様の善意の支援献金によって支えられています。経済的支援をもってご協力くださる方は、お手数ですが以下のいずれかの方法で口座にお振込ください。ご支援を心より感謝いたします。

- ゆうちょ銀行口座番号 12110-91889141 名義：「陣内俊を支える会」
- 他行からの振込 店名（店番）：〇八九（ゼロハチキュウ）（089）預金種目：当座
口座番号：0142825 「陣内俊を支える会」
- 郵貯振替口座番号 00830-1-142825 名義：「陣内俊を支える会」
（同封の振込用紙がご利用いただけます。）

- * 振込用紙をご入り用の方、ゆうちょ口座からの自動引き落としを利用されたい方はお知らせください。
- * 振込用紙（赤色・手数料当方負担）を同封いたしますが、振込用紙は決してご支援を催促するものではありません。お振込くださるときにご利用ください。（毎月ご利用の方のために複数枚同封しています。）
- * Prayer Letter の購読、自動引き落としを停止されたい方、またはお届け先の住所に変更がある方は、お手数ですが、上記連絡先のいずれかにご連絡ください。